

様式

技術名称	深梁工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KTK-14008
会社名等	JFEエンジニアリング株式会社	担当者	佐藤健全	連絡先	03-6212-0037
技術の概要	既設栈橋に対して、鋼製梁を杭間に設置することで栈橋を補強する工法。従来は、杭の追加打設や地盤改良で対応していたが、この技術では、栈橋上部工や背後のエプロン部に一切手を入れずに済むため、栈橋の供用停止期間を大幅に短縮することができる。			添付資料	パンフの有無 有 その他の資料
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・栈橋上部工や背後のエプロン部に一切手を入れずに栈橋の補強が可能。 ・既設杭の腐食減厚が少なく再利用が可能な栈橋に適用可能。 ・設計水深-7.5mの栈橋において、従来技術である増杭に比べ、18%の工事費削減が可能。 ・施工中の振動・騒音が小さく、周辺環境に対する影響が非常に小さい。 			その他	活用に当たっては、特許使用料が必要 (特許番号5136589)

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。

様式

技術名称	アーク矢板ジャケット工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	CBK-070001-V
会社名等	JFEエンジニアリング株式会社	担当者	佐藤健全	連絡先	03-6212-0037
技術の概要	土留めとジャケット式栈橋とを一体化した岸壁構造。護岸の土留め機能を、円弧状に配置した直線形鋼矢板が受け持ち、その反力をジャケットで線的に支持させるものである。土留め構造の合理化により、従来必要とされていた腹起こしおよび曲げ剛性部材が不要となり、鋼材量を大幅に削減できる。			添付資料	パンフの有無 有 その他の資料
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・土留め機能を必要とする栈橋に適用可能。 ・腹起こし不要、鋼管矢板が直線形鋼矢板になることから、従来の土留め一体型ジャケット式栈橋に比べ、大幅な鋼材重量減となる。 ・従来の土留め一体型ジャケット式栈橋に比べ、栈橋・土留め・裏込めの合計工事費で14%の工事費削減が可能。 ・直線形鋼矢板を引張状態で使用することにより、爪嵌合部からの漏水が少なく遮水性の高い壁体を構築できる。 ・杭打設が可能な地盤に適用でき、中水深や大水深で、工事費削減効果が大きくなる。 			その他	活用に当たっては、特許使用料が必要 (特許番号3799939)

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。